

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課	■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	北上市鳥獣被害対策連絡協議会負担金(事務局事務を含む)		
■事業開始年度	平成9年度		
■評価事業コード	050200 - 106	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり	
	■基本施策	01 地球環境保全の推進	
	■施策	01 豊かな自然環境の保全	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	有害鳥獣による被害を最小限にとどめるため、協議会に負担金を支出し、農作物及び市民生活への被害防止を図る。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	有害鳥獣捕獲連絡協議会負担金(事務局事務を含む)	市民	煙火保安講習受講、鳥獣駆逐用煙火配布、クマ出没時の広報活動、カワウ対策事業、クマ対策研修会開催、狩猟免許受験料補助金、電気柵設置事業費補助金	煙火保安講習受講、鳥獣駆逐用煙火配布、クマ出没時の広報活動、カワウ対策事業、クマ対策研修会開催、狩猟免許受験料補助金、電気柵設置事業費補助金

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	107	106	111	122	
人件費	968	1,051	1,908	3,766	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,075	1,157	2,019	3,888	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	電気柵補助金交付件数	4	8	1	4	
02	狩猟免許補助金交付人数	0	4	7	5	

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

クマ出没時の広報活動や研修会の開催等により、市民への注意喚起を図り、被害防止に努めた。また、狩猟免許受験料補助金及び電気柵設置事業費補助金の活用により、対象者に補助を行い、鳥獣被害の抑制及び実施隊員となる人材育成を行った。

問題点・課題等

クマ忌避資材実証実験を実施したが効果はみられなかった。今後は協議会のみならず、関係機関・地域住民と連携した地域ぐるみの対策が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

害鳥獣による被害防止のため、今後も事業継続が必要

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了